災害時の避難について

大地震が起こったら…

グラッときたら

まず、身を守る！

- 火を消す
- 避難路を確保

避難するとき

- ブレーカーを切る
- ガスの元栓を閉める

- 子ども・障害者 熟年者など 災害弱者に配慮を
- 壊れた家屋から逃げられない人を救出

家が大丈夫なら

一時集合場所（いっとき）

集団で避難するために一時的に集まる場所
（区立公園など）

自宅が倒壊したり火災などで戻れないときは避難所へ

地域一帯が火災で危険なとき

避難所

避難所の周辺が火災の延焼拡大で危険なとき

災害が沈静化したら

区立小・中学校など

広域避難場所

広域避難場所

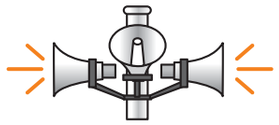
大島・小松川公園や江戸川南部一帯、篠崎公園など区内８ヶ所

予想震度７に見直された首都直下地震。いつ発生しても不思議ではありません。平成24年度、国や都による新たな被害想定を受け、江戸川区は、地域防災計画の抜本的な見直しに着手しています。

今回は大地震と大洪水を前提とした避難について、区民の皆様にイラスト中心にお知らせします。

災害情報に注意

防災行政無線



お知らせダイヤル

3652-1284

防災行政無線が聞こえなかったり聞きづらい場合は上の番号へ

広報車

テレビ・ラジオやインターネットなどで情報を入手

- FM えどがわ 84.3MHz
- 江戸川区公式ツイッター
- えどがわメールニュース

大洪水が起こったら…

避難場所・避難方法

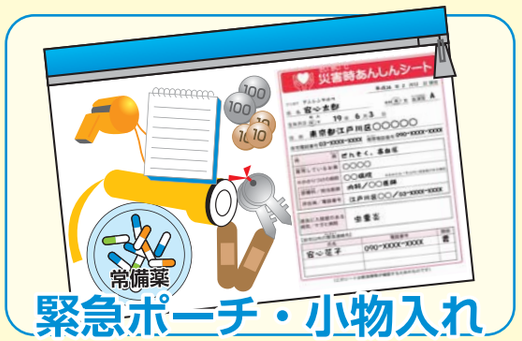
○ 避難するときは２人以上で、動きやすい服装で
○ 必ず徒歩で避難を

頑丈な３階建以上に住んでいる世帯は	自宅で動かないで待つ
時間にゆとりがあれば	地域防災拠点へ ①大島・小松川公園 ②葛西南部地区 ③国府台台地
避難困難者がいる世帯は	待避施設へ 区立小・中学校など
危機が差し迫ったら	近くの頑丈な３階以上の建物へ

災害は自助が基本。日頃からの備えが大切です

災害用備蓄品の準備

耐震改修・家具の固定



緊急ポーチ・小物入れ